

普通科と商業科を併設した総合制高校である塩山高校で、『ここが未来の起点』を目標にひたむきに頑張っている生徒たちの姿を皆さんに知ってもらいたい。そんな思いのこもった学校通信です。ぜひご覧ください。



HEADLINE 1

60th anniversary ～創立60周年記念～

さらなる飛躍を目指して



本年度、創立60周年記念を迎えた本校は、10月21日、甲州市民文化会館にて同窓会や歴代の校長先生をはじめとする多くの方々の参列のもと、記念式典並びに記念公演会を開催しました。また、マイクロバスの更新、同窓会奨学金の創設、記念絵画の寄贈などの記念事業により、生徒がより豊かに学べるような環境となりました。学舎を巣立っていった同窓生は15,000名を超え、さまざまな分野で活躍しています。これまで築き上げられてきた功績を誇りに、「和敬・叡智・創造」の校訓のもと、塩山高校の新しい歴史を一步一步着実に積み上げていきたいと思ひます。

記念公演では、東京演劇集団「風」による『ヘレン・ケラー』～ひびき合うものたち～の演劇を鑑賞しました。この公演に先駆け、三重苦を背負った主人公ヘレンについての理解を深めるため、手話や三重苦体験の事前学習を行いました。そのこともあってか、ほとんどの生徒が、舞台装置や演技の素晴らしさに感動し、「良かった」、「感動した」との感想を寄せていました。さらに、自分の人生と重ね合わせたり、身体の不自由な方への関わり方を反省する感想もあり、自分と向き合う機会にもなった公演でした。



HEADLINE 2 修学旅行記 ～今ある平和に感謝～

[修学旅行委員長／2年 古屋 瑠奈]

3泊4日の修学旅行は、平和の大切さと人々との触れ合いを感じる機会となりました。平和教育では、事前学習で沖縄での地上戦について学び、そこで初めて多くの方が亡くなったことを知りました。そして、平和資料記念館を訪れ、戦争体験談を読んだとき、想像を絶する内容に胸が痛くなるとともに、今ある平和に感謝し、大切にすべきだと強く思いました。青い海、青い空のもと、自然と触れ合ったり、行く先々で地元の方との温かい交流ができ、充実した4日間を過ごせ、実りの多い修学旅行となりました。



HEADLINE 3 入選おめでとう！

「日々の努力が自分自身の成長につながった」

[書道部／2年 小野 大貴]

自分にとって2回目の山梨県高等学校芸術文化祭。昨年に続き、2年連続で芸術文化祭賞を受賞することができ、とても嬉しかったです。部活動での日々の練習で、何度も何度も書き直し、大変な思いをしましたが、書道の天野先生より熱く指導していただいた結果、自分自身を昨年より成長させることに繋がり、このような素晴らしい賞を取れたと思っています。顧問の先生や部の仲間、また、これまで支えてくれた家族や書道教室の先生に感謝します。今後も感謝の気持ちを忘れず、日々の練習に励んでいきたいです。



2016全国総合文化祭ひろしま大会にて

「命の大切さを学ぶ授業作文コンクール」入賞

[2年 西嶋 ひなた]

私は「命の大切さを学ぶ授業」で、講師の岡崎照子さんの講演を聴き、そのとき感じたことを作文にし、コンクールに応募したところ、「警察庁長官官房給与厚生課犯罪被害者支援室長賞」をいただくことができました。講演を聴いたとき、私が小学生だった頃のことを思い出しました。それは、小学五年生の頃、友達の家で鬼ごっこをしていたときのことで、周囲で見ていた親たちに、何度も何度も「飛び出しには気をつけて」と注意されていたにもかかわらず、事故が起きてしまいました。私は頭の中が真っ白になってしまい、目の前で起きた事故の状況を把握することができませんでしたが、事故に遭った友達の親が泣き崩れていたことは、今でも覚えています。講師の岡崎さんが、娘の愛さんを亡くされたときの辛さを話されたとき、私の経験と重なりました。この講演会を聴いた人たちが、事故の怖さや周りへの影響を理解して、交通安全に気をつけて、事故のない世の中になって欲しいと思います。



山梨県警察本部 赤池氏(右)と

吹奏楽部 第7回定期演奏会

●日時 3月10日(金) ●会場 甲州市民文化会館
●開場 18:00 ●開演 18:30 ●入場無料
皆さまのご来場をお待ちしています。



EZtimes 第8号

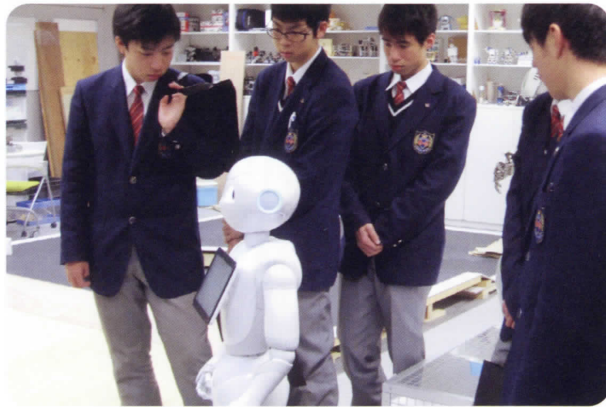
発行：山梨県立塩山高等学校
〒404-0047 甲州市塩山三日市場440-1
☎0553-33-2542
発行日：平成29年3月



EZ TOPICS

総合的な学習の時間

1年 一日校外体験学習



1年生の後期の総学では、「自己の進路を考える」をテーマに、講演会や探究活動、発表会等を行っています。その活動の一つとして、大学・専門学校や職場を訪問し、実際に見たり聴いたり体験する機会を設けました。生徒は「もっと知りたい」「もっと学んでみたい」など、職業に対する意識付けができ、充実した一日を過ごせました。今回は、中央大学のご厚意により、学食も体験することができ、高校との違いに、驚きとともにあこがれの気持ちも芽生えるきっかけとなりました。

2年 インタビュー実践



2年生の後期の総学では、「社会と関わる」をテーマに、コミュニケーション力を身につけるためマナー講座やコミュニケーショントレーニング等を行いました。そして、実践活動として、本校の校長や学校業務員のほか、地域で活躍する警察官・消防士・保育士・カメラマン等の方々に、また、甲州市役所、日本銀行甲府支店、山梨県地場産業センターへと出向き、様々な職業の方にインタビューをする機会を設けました。インタビュー後、生徒は「働くことの大変さ、楽しさ、厳しさを知ることができた」、「経済の仕組みや山梨の観光の現状がよくわかった」など、社会との関わりを意識する機会となりました。

3年 巣立ち教室



3年生の総学では、「社会の中で生きる」をテーマに進路や興味・関心に応じた講座に分かれて探究活動を行うとともに、講演会も行ってきました。これから社会へ羽ばたいていく3年生に、もっと社会について知り、さらに課題意識を持ってもらうため、「税金」「年金」「労働者の権利」について考える機会を設けました。この講演を聴いて「社会人としての権利と義務が分かり、社会に貢献していこうと思った」「日本はお互いに助け合っていく社会であることが分かり、社会人として義務を果たしていこうと思う」など、学びの多い講演会となりました。

英数 地域活性化プロジェクト2016



3年英数コースでは、地域の活性化をテーマに課題の設定と解決方法を見出す探究活動を行ってきました。地域の歴史に目を向けた重要伝統的建造物保存地区である上条集落の認知度を上げる方法、認知症を理解してもらうためのリーフレットの作成、古民家の魅力と空き家バンクへの登録を呼びかけるパンフレット及びポスターの作成、甲州市の水の調査など、地域の歴史や自然、高齢化、過疎化の問題に取り組みました。そしてこの活動の報告会を、甲州市役所で行いました。今回の活動が多くの人に広がり、甲州市の活気あふれる町づくりに役立つことを願っています。

EZ COLUMN

地域に根ざした学校を目指して…

商業研究部の活動 ～復活!かぼちゃ祭に貢献～

商業研究部では、これまでENZANガイドマップを作成したり、ボランティア活動、ワークショップに参加するなど、地域に貢献できるような活動を行ってきました。そのつながりから、本年度は復活した「甲州天空かぼちゃ祭」の企画・運営に携わることができました。PRチラシの作成、商品開発、イベント企画などを考え、当日は、かぼちゃのスープ、町田製パンに依頼した天空かぼちゃパン・マフィンの販売、呼び込み等を行いました。とても大変でしたが、天空かぼちゃのランタンに喜んでいるお客様を見て、この企画に参加できて本当によかったと思いました。そして、この活動を通して、地域の方々や大学生、専門学生とともに活動し、県内外に天空かぼちゃの魅力が伝えられたと思います。



吹奏楽部の活動 ～愛されるバンドを目指して～

吹奏楽部は、少人数の活動ではありますが、校外で演奏する機会を大切に行ってきたところ、本年度はさらに多くの場で演奏する機会を持つことができました。特別養護老人ホームの新緑祭に始まり、甲州市およっちょい祭、ハーブ庭園でのクリスマスコンサート、甲州市立勝沼中学校との合同演奏など、様々な活動を行いました。このような活動は、地域の方々と交流するいい機会となり、また部員も校外で演奏することに対して積極的になるなど、部の活性化にもつながりました。今後も地域と連携した活動を積極的に行っていきたいと思っています。



バドミントン部の活動 ～ボランティア活動をきっかけに～

商業研究部が行ったNTTクラリティでのボランティア活動をきっかけに、NTT東日本の実業団に所属しているバドミントン選手による教室が本校にて開催されました。プロ選手のプレーを間近にし、そのフットワークの早さやテクニックの素晴らしさに感激し、目標にしたいと思いました。このようなことはなかなかない機会である上に、練習後、アドバイスもいただきました。今回の企画は、商業研究部の地域での活動によるものであり、人とのつながりを大切にしてきたことから始まったものです。私たちもこのつながりを大切にしていきたいと思っています。



進路希望を活かした教科の活動1 ～勝沼の観光プランを考える～

3年ビジネス観光選択者が考案した勝沼観光プランを、2年生に案内しながらコースを巡り、プランについて検討しました。勝沼ぶどう郷駅から始まり、大善寺、旧田中銀行博物館、祝橋、宮光園、ハーブ庭園旅日記までのプランを実際に案内しました。そして、実践することにより、観光者の気持ちになり、移動手段やプランの見直しなど課題を発見することができました。今後は、このプランを見直し、山梨県の観光PRに貢献できるような活動を行っていきたいと思っています。



進路希望を活かした教科の活動2 ～塩山式手ばかりから食を考える～

甲州市役所健康増進課と甲州市食生活改善推進員が発明した「塩山式手ばかり」。甲州市民の健康増進のために推進してきた活動を、将来を担う高校生にも活用してもらうために、甲州市役所の管理栄養士の方と、甲州市食生活改善推進員の方々に依頼し、講習会を実施していただきました。参加した生徒は、「自分が思っていたよりも摂取量が必要だということがわかった」「簡単なで家族にも教えてあげようと思った」など、食生活を見直すきっかけとなった時間でした。

